

“交流サロン・結遊の思い”

いきいきと支えあいのできるコミュニティづくり 令和3年6月18日

はじめに

高齢化率の高いこてはし台の地ですが、身近には自然がある。土に触れ、異年齢の人と交流し、自然の中で生かされていることを実感する。そして生産の喜び、米作りの歴史、伝統文化を体験することから、人を思いやることと生きる力を失わず、笑顔の作れる日々を送ってほしい。

行事（活動）の柱

1)米作り



3月からスタートする種まき、田んぼの代掻き、田植え、草取り、稲刈り、ハサ掛け、脱穀、精米までの一連の米作り

穫れた米は、江戸時代の〇〇石（米一俵は 60kg で換算する）になるか……ちなみに3反から取れた米はほぼ10石であった（令和1年）

藁を使って、納豆、



正月のしめ縄作りを作る

2)発酵食品づくり

味噌づくり、豆腐、納豆づくり

田んぼの米と、畔にまいた大豆を使って味噌づくり
(2月に仕込み、1年間味噌蔵に寝かせてから食べる)



沢庵づくり

9月の深く掘った畑にまいた沢庵大根は12月に収穫して、干して、田んぼのヌカと干し柿にしたときの、渋柿の皮、トウガラシなど、すべて自前の材料



3) ブルーベリー”サンライズベリー園“での栽培

指導者は、100歳でしたが。元気象庁に勤務したことのある梨栽培を業とする人で、記録することの大切さを学びました。

110本のブルーベリーは4年目で、草取りと水持ちが良いよう根元にチップを敷き、収穫は3日から4日ごとです。

3つの楽しみ 【三徳】

- ① 作ってよし ② 見てよし ③ 食べてよし



4) 学びあい、交流の場、相談の場



Tシャツづくり

ジャガイモ、サツマイモ、ヤーコン、野菜作り、しいたけづくりを



しいたけは菌を植えてから、1年後から収穫
流しそうめん(孟宗竹を切って運び、2つに割る)

東日本大震災の地・福島県楡葉町との交流



三春の滝桜の孫・・・5年目で咲いた！

田んぼの隣の河川の土手に植えた

相談の広場 むくの木広場づくり、交流

交流、学びを通しては、子どもから高齢者までの異年齢の中で、助け合いと歴史の大切さを知り、声掛け、相談することで、いつの間にかストレス

を忘れさせてくれることを知る。



以上